

6月21日(火)

神様の呼びかけに答える

聖書朗読 出エジプト記 3：1～15

主は、彼が横切っ て見に来るのをご覧になった。神は柴の茂みの中から彼に「モーセ、モーセ」と呼びかけられた。 出エジプト記 3：4

電話が鳴りましたが、発信者は『非通知』となっていたので、出ませんでした。すぐに娘の声がして留守録を残しました。私は急いでかけ直し、なんで自分の電話からかけなかったのかと訊きました。今の世の中では、非通知だったからでなかったことは良くあることではないでしょうか。

しかし、それが神様から電話だったらどうでしょうか。神様からの召しが、はっきりと分かりやすいことは余りありません。例えば、モーセが見たように、燃える柴ほどわかりやすいことはそうありません。どうしたら本当に神様からの召しであるとわかるのでしょうか。その召しがあなたに対するものだと、どうしてわかるのでしょうか。

その召しが想定内だったとか、気持ち良くできそうだとか、合理的であるとかでは判断できないのは確かです。聖書の中には、そのような召しは滅多にありません。

神様からの召しを、私たちが神様の壮大なご計画や目的に反するようになることではありません。神様のご栄光や神聖さをそこなうならば、それは神様の召しではあり得ません。

真に神様が召しておられるならば、私たちをととのえ、私たちに神様の権限を委託し、与えてくださいます。召しとともにメッセージと使命が与えられ、奉仕と人々の救済がもたらされるでしょう。神様の召しであれば、神様のご栄光のためであって、私たちのためではないのです。

神様が呼びかけられる時、答えましょう！

讚美歌 517

祈り 親愛なる主よ、あなたの召しが聞こえるように助けてください。そしてそれに答える勇気をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・ビアーデン

6月22日(水)

夜明け前が一番暗い

聖書朗読 出エジプト記5章

貧しい者は決して忘れられることがなく、苦しむ者の望みは永遠に失せることがない。 詩篇 9：18

彼女のひいおばあさんは生まれながらの奴隷でした。彼女のおばあさんも母親も彼女自身もそうでした。今でも彼女は自分が無力で娘に奴隷の生活よりましな暮らしをさせてやれなかったことを嘆いています。娘の体内に流れている血は、安楽を、力を、とりわけ自由を求める長い祖先伝来の祈りの象徴です。祈りで口は疲れ果て、探し続けて目は弱り、ストレスで耳がガンガン鳴っても、神様からのお言葉はありませんでした。今まで、救いのしるしはありませんでした。彼女は どうしたら良いか分かりませんでした。

しかし、そんな時に、モーセが砂漠から戻って来ました。そこで、人々の生活を覆っていた暗闇に一筋のかすかな希望の光が見えました。神様は本当に我々の叫びをお聞きくださったのだろうか。モーセというこの羊飼いは本当にファラオに立ち向かってくれるのか。やっ と解放されることを望んでも大丈夫なのだろうか。

しかし、その望みはかなわないように見えました。何も変わらなかったのです。望みが大きかっただけ、失望も深いものでした。藁の供給なしでレンガを作るなんて、私たちは一体どうなってしまうのだろうか。絶望が襲いました。

聖書を読んでいますから、私たちは、ヘブル人の奴隷がやがて解放されることになるのを知っています。後から考えてみればの話ですが。そして、同様に、いやそれ以上のことが起こりました。そのずっと後に、神様がイエス様を送って下さったことにより、私たちは信仰によって、イエス様の十字架での死という一番暗い瞬間を貫いて、空っぽの墓とその先の復活を見ることが出来ます。

私たちがまだ罪人であった時に、私たちが自分の罪の中で死んでいた時に、まだ暗黒だった時に、墓は空になっていたのです。信仰によって、それを見る目がありさえすれば。

讚美歌 244

祈り 主よ、私たちがエジプトから連れ出してくださった神様、死ぬべき私たちの身体を生かすために人となられた主よ、今、あなたの救いを見る目をお与えください。

イエス様によってお祈りいたします。アーメン。

ドゥルー・ベイカー

6月23日(木)

逃げ道

聖書朗読 出エジプト記 14:5~14, 29~31

イスラエルは、主がエジプトに行われた、この大いなる御力を見た。

出エジプト記 14:31

絶体絶命だと思われるような目に遭ったことがありますか。そのような事態はいろいろな風に言われています。窮地に陥るとか、苦境にあるとか、にっちもさっちもいかないとか、進退窮(きわ)まるとか。人生の旅路には時に山坂があり、行き詰まりに入り込んでしまうこともあります。今、困難な立場に立たされていますか。

出エジプト記4章で、イスラエルの子らは苦境にありました。行き詰まりでした。しかし神様は、この困難な状況で彼らに備えをさせていただきました。紅海を前にして立ち往生しているイスラエルの民は、行き詰まりに来て、神様の存在が重要であると実感することになりました。モーセは民に、しっかり立って、主の救いを見、黙っているようにと命じました。怒り狂うエジプトの軍勢が背後に迫っている時、それは言うほど容易いことではなかったでしょう。しかし、イスラエルの民はモーセが言ったとおりにしました。そして、神様のみわががなされました。神様はいつも働かれます。

神様の命によって、紅海の水は分かれ、そしてまた元に戻りました。神様は私たちのように時計をご覧にはなりません。朝の3時にみわがをなさる時もあれば、正午になさる時もあります。私たちのように目覚まし時計に飛び付いたりはなさらないのです。私たちが決めた最終期限には関わりなく、みこころを行われます。神様を私たちに仕えさせるのではなく、私たちが神様にお仕えしなければなりません。

讃美歌 83

祈り 神様、私たちに寛容であってください、あなたをほめたたえます。力と知恵を与えて、人生の行き詰まりの先を見、お仕えしているお方を思うことができるようにしてください。私たちが決して離れず、私たちに脱出の道を用意してくださいという、お約束をありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョッシュ・バーネット

6月24日(金)

聖書時代の燃え尽き症候群

聖書朗読 出エジプト記 18:13-27

このことは、あなたにとって荷が重すぎるからです。あなたはそれを一人ではできません。
出エジプト記 18:18

モーセのような偉大な指導者にも、どうやって仕事量を調整したらよいかについて助言が必要でした。しゅうとイテロは、モーセが朝から晩まで民をさばっているのを見て、こう言いました。「一体ここで何が起きているのですか。どうしてあなた一人でこんなことをしているのですか。こんなやり方は良くありません。あなたも、あなたとともにいるこの民も、きっと疲れ果ててしまいます。」(出エジプト18:14, 17) イテロは、ふさわしい人たちにわざを委任するという“仕事の分担”案を提案しました。

モーセがイテロの助言を聞き入れたのは、彼が謙遜であることの証しです。彼は自分は絶対不可欠の存在であると思ったり(高慢の一形態)大小を問わずあらゆる事柄に自ら関わって指揮を執らなければならないと感じたりしませんでした。神様を信じ、かしらとして任じた有能な人たちに信頼することにしたのです。

民数記11章10節から15節には、モーセが再び疲れ果ててしまった時のことが書いてあります。神様ご自身がくださった解決法は、民のつかさ70人を選んでモーセを助けるようにすることでした。神様は実に、モーセの上にある霊から一部を取って彼らの上に置くと約束されました。「彼らも民の重荷をあなたとともに負い、あなたがたった一人で負うことはなくなる。」(民数記11:16~17)

権限を委譲することは、ストレスが軽減するなど、明らかに委譲する者に恩恵があります。出エジプト記18章23節には、「この民もみな、平安のうちに自分のところに帰ることができるでしょう。」と、もう一つの恩恵が記されています。最後の恩恵として、選ばれた人たちはやがて指導者となる機会を与えられたのです。すべての人たちにとって恵みとなります。

讃美歌 215 20 謙遜に清く生きたい

祈り 神様、あなたのみわがをなそうとする時に、謙遜でいられるように助けてください。傍にいる人たちが助けてくれるようにする方法を示してください。そして、彼らもあなたのみわがを行うことによって恵みを分かち合うことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

リーサ・ラングフォード

6月25日(土)

立て役者はだれ？

聖書朗読 ヨシュア記 6：12～21

私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

ピリピ 4：13

♪町の周りを行進したら城壁が崩れ落ちるなんて考えると、お頭(つむ)が空っぽだっということがバレバレだよ♪ アメリカの子ども向けアニメ、ヴェジテールズ・ビデオ版で、ブドウ戦士たちがエリコの城壁の上で、遙か下に見える炎熱砂漠をとぼとぼ歩いている、ちっぽけなイスラエルの胡瓜や豆たちをからかいながら歌います。

ブドウ戦士たちの言うことはもつともでした。でも、彼らは勘違いしていました。ヨシュアは自分たちが町の周りを回って、角笛を吹き鳴らし、とき声をあげて、町に入ることができようとは思いませんでした。でも神様が「わたしはエリコをあなたの手に渡した。」とおっしゃったのです。さらには、イスラエルの子らに神様のみわざにおける脇役を与えてくださいました。

神様はあなたをご自分の戯曲に組み込まれるかもしれませんが、喜んで受け入れられるのをお待ちになります。神様が立て役者ですから、神様が結末を引き受けます。いろいろな方法で不可能なことを遂行されます。城壁を崩壊させたり、奇想天外な脱出口を設けたり、あなたにはとてもできないようなことを頑張らせてくださったり…。

あなたの前にそびえているのはどんな壁ですか。逃げ場のない状況ですか。完遂できない仕事ですか。主はあなたに、城壁の上で高みの見物をしている人たちには奇妙に見えることをさせてくださるでしょう。

聖歌 424

祈り 主よ、あなたはつねに全知全能のお方です。今日、力を与えて、私にはできないことをなさしめてください。その過程であなたを敬い、他の人々を祝福することができますように。感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

イアン・K・シェルバーン
テキサス州、アビリーン



ブドウ戦士たち

6月26日(日)

いざ助けよなが友を

聖書朗読 士師記 4：1～15

見よ 主を恐れる人は確かに このように祝福を受ける。 詩篇 128：4

今日の通読箇所女預言者デボラが与えたのは成功ではなく、人々に対する気遣いでした。それはイエス様の弟子たちにも必要なものです。自らに問うてみましょう。「地上にいる間に私にできる最大のことは何だろう。」

りっぱな答がたくさんあるでしょうが、要はだれかをイエス様に導くことに尽きます。まずは身内から始めて、それから周りの仲間たちへと向かいます。どうやって？ 思いやりのある態度で日々の出来事を覚えることから始めるというのでしょうか。

デボラはイスラエルの子らを心にかけていました。戦いの前にも後にも、神様のために生きるようにと民を導いていました。彼女は、自らできるかもしれない時でも、真の信仰者たちを呼び寄せ、神様の命令に従って踏み出すようにと教えました。私たちも他の人たちを励まし、チャンスにあって大胆になれるように。今日、だれかを導きましょう。にっこり笑って励ましの言葉をかけましょう。後は神様の御力が働かれます。

悪魔の手は汝(な)が心頑(かたく)になしたれど

神の御手は汝が胸にみ歌を奏(かな)でたまわん

聖歌526『罪にこしむなが友に』

作詞 ファニー J・クロスビー

聖歌 526

祈り 天にいらっしゃる父なる神様、あなたのご命令で踏み出す機会をつねに求める勇気をお与えください。あなたが宝と呼ぶ人々を思いやる者として振る舞うことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。



Fanny J. Crosby
(1820-1915)

作詞家・詩人・作曲家

W・スコット・ウッドリー